

いちい国語「居住地交流」 Y.K教諭

学校相互間の連携や交流『学習指導要領解説総則編』

「他の小学校や幼稚園，認定こども園，保育所，中学校，高等学校，特別支援学校などとの間の連携や交流を図るとともに，障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習の機会を設け，共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育むようにすること」とされている。

居住地校交流

特別支援学校に通っている子供が，自分の住んでいる地域の小中学校に行き，学習や行事に参加することで，多様な考えに触れたり，お互いの個性の理解を深めたりするもの。また，自分が住んでいる地域の同年代の子供と学習活動を共にし，良好な人間関係を築いたり，社会性を身に付けたりすることをねらいとする。

【授業の流れ】

- (1) 学習内容を確認し，班を作る。

※緊張している居住地交流の生徒を，明るくそして優しく招き入れることができていました。

※グループを作るとき，机と机の間に隙間がなく，しっかりとくっついています。

(是非見習いましょう)



- (2) 「脳シャキクイズ」

例) 9人の王様が何かをしています。何をしているのでしょうか？

※自分が考えた答えを，班のメンバーと共有する際，話し手と受け手の双方のコミュニケーション力が必要となります。



ジェスチャーで
ヒント



話し合い活動



他の班に悟られないように答えを伝えます！



答えはクッキング

自分たちだけが楽しむのではなく，交流している生徒に発表してもらうよう，優しく促しているところです。



- (3) しりとり大作戦

楽しくしりとりを行い，最後にボーナスポイントで盛り上がります。

例) 一番長い言葉を出したチームにポイント



※優勝したチームをたたえ合える，いちいの皆さんでした！

